

- 3. 調和型文明へ向けた東アジアの基盤的政策の研究

Study on Key Political Issues for Coming Harmonized Civilization

✎ キーワード Key Words	国家安全保障、文明論、北東アジア、 National Security ,Civilization , Northern East Asia
--	---

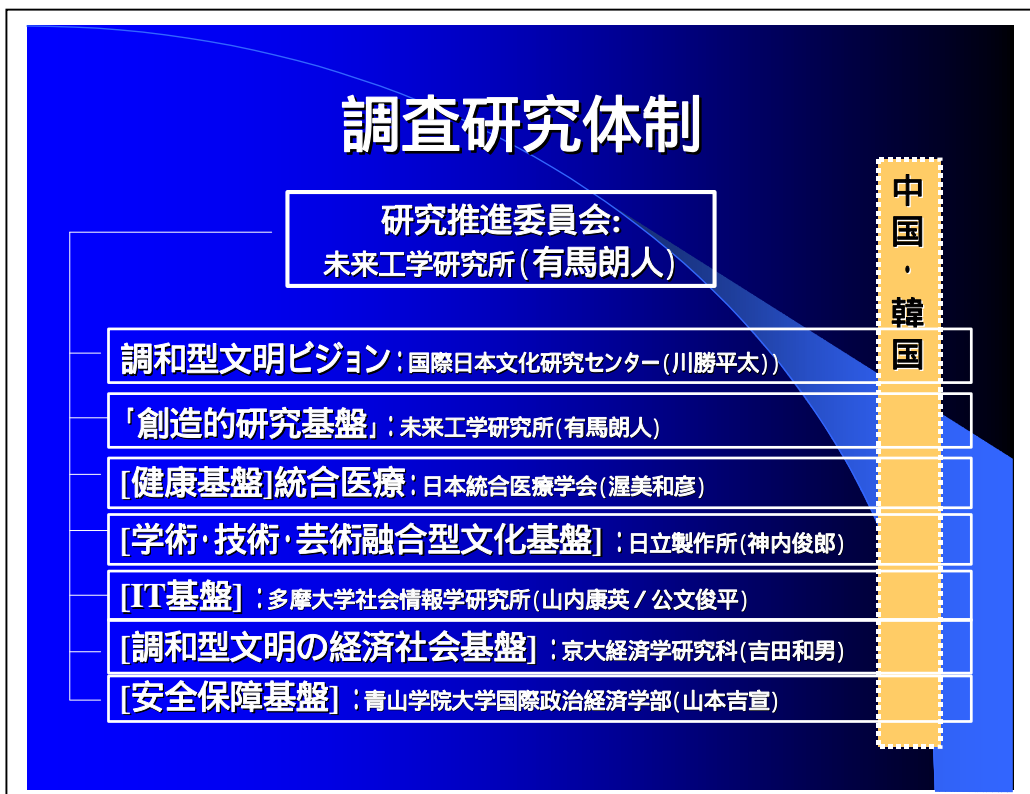
1. 調査の目的

現代科学技術の根底の一元的価値観による西洋文明(思想)は既成秩序のバランスを損ない世界の混迷を与えている。我が国は西洋文明と異なる文化的基盤から近代化を成し遂げ、多元的な文明のとりいれを体現してきた経験からも近隣の東アジア諸国と多元的調和を尊ぶ新たなパラダイム構築のための研究を行うものである。

2. 調査研究成果概要

(1) 調査内容について

調和型文明形成に資する基盤的政策として、健康医療分野における統合医療化、情報通信分野におけるデジタル技術とネットワーク技術に依拠する多元的な文化振興、エネルギー消費型経済と環境の矛盾を解きほぐすシステムや国際金融経済、東アジアにおける戦略環境において長期的な信頼醸成など、東アジアの特質を踏まえ検討を行う。同時に日本、中国、韓国などの東アジアの研究者・政策関係者と基盤的政策について中・長期的な観点を踏まえた共同検討を加え、調和型文明形成の東アジアモデルを想定し、国際社会に提言するものであり3ヵ年計画の調査研究である。



(2) 日本・韓国・中国による国際シンポジウムの開催

2004年9月7日8日の2日間、韓国世宗研究所、中国社会科学院などと中国蘭州で「調和型文明に関する日韓中国際シンポジウム」を開催した。中国や韓国のトップレベルの研究者、政治的指導者とともに多様性が尊重され、様々な対立が調和されて新たな世界が創造できるこれからの文明のあり方について次の観点から検討し、討議することが急務の課題であると考え国際シンポジウムを開催したものである。

- これからの文明のビジョン検討
- 多様な文化と創造性の探求
- アジアの健康基盤(統合医療)構築
- アジアのIT基盤創造
- これからの経済社会基盤の展望
- 安全保障基盤構築(信頼醸成)

(3) 個別基盤的政策に関する日本・韓国・中国の検討

本研究を深化するためにそれぞれの研究グループによる研究が進められているがなかでも以下の2点については日本・韓国・中国の研究者によるワークショップを行った。

- 多様な文化と創造性の探求のために山形県鶴岡市で県市の協力を得て、東アジアの思惟基盤に焦点を当てた創造性に関するワークショップを実施した。
- 安全保障基盤に関してはソウルの世宗研究所において、石原信雄元内閣官房副長官をはじめ韓国や中国現代交際関係研究院およびわが国の指導的研究者を交え北東アジアの信頼醸成に関するワークショップを実施した。

研究成果のインテグレーション・ベクトルの調整、進展を図るために研究推進委員会を随時実施し全体の取りまとめを行っている。

なお2007年に研究の総括と報告がまとまる予定である。